

# せくらに水

(題名は校歌より)

さいたま市立宮前小学校

- ・本気で勉強しよう
- ・心をみがき体をきたえよう
- ・人のためになろう

発行責任者 校長 玉井 康仁

在籍児童数 819人

## 一年を振り返って

校長 玉井 康仁

早咲きの河津桜の便りに、春の訪れが待ち遠しい頃となりました。3月は「まとめの月」。子どもたちは、進学や進級を見据えつつ、友達や先生と過ごす残された日々を大切にしている様子が見受けられます。「今年度の集大成」にふさわしく、子どもたちは非常に落ち着いた学校生活を送っております。

さて、今年度、学校教育目標「すすんで勉強しよう 心をみがき、体をきたえよう 人のためになろう」の実現をめざし、全職員が力を合わせ、日々の教育活動の充実に努めてまいりました。ご協力をいただきました学校評価アンケートの集計結果が出ましたので、いくつかの項目をあげながら、今年度の取組状況を振り返りたいと思います。

まず、「授業や行事は楽しい」の項目で95%の児童が「よくあてはまる」「だいたいあてはまる」との答え、また、91%の児童が「安心して生活できている」と答えていました。これは、児童が友達や教職員との『あたたかなふれあい』の中で、毎日生き生きと学校生活を送り、充実感や満足感を実感していたと推察します。ただし、保護者アンケートの「教育方針を分かりやすく伝えている」の項目で「よい」「概ねよい」と回答が85%であり、学校教育への関心や期待の高さが伺える反面、学校はもう少し広く教育方針を伝える必要性を感じました。

「進んであいさつをしています」の項目では、児童アンケートでは昨年度より10%上昇し91%が「あてはまる」と答え、保護者アンケートでも82%が「よい」「概ねよい」との回答を得ました。子どもたち自身が「できた」と実感しているあいさつは、地域の方々からも「よくあいさつしています」と褒められることも多く、人間関係の基本となる「潤いのある4つの言葉（はい、おはようございます、ごめんなさい、ありがとう）」を今後も推進し、本校の良き伝統にしていきたいと思えます。

「分かりやすい授業を行っている」の項目では、93%の児童が「よくあてはまる」「だいたいあてはまる」との答え、保護者からも「よい」「概ねよい」が86%の回答を得ました。どの学級でも学習のきまり（学習習慣）の育成に重点を置き、落ち着いた雰囲気の中で、基礎・基本の習得に重点を置いた授業を行ってきました。しかしながら、「一人ひとりを大切にした指導を行っている」の項目では、「よい」「概ねよい」と回答をいただいた保護者は77%にとどまりました。学校は、平成32年度に全面実施される新たな学習指導要領等が唱える「**急激に変化する社会の中で、未来の創り手となるために必要な資質・能力**」の育成に向けた指導の準備をするとともに、今一度、児童一人ひとりの学習に目を向け、家庭と連携・協力して児童の育成を図らなければならないことを強く感じました。子どもたちが大人になった頃は、人工知能の進化や今以上のグローバル化の進展など、予測がつかない社会が待ち受けているかもしれません。このような社会では、自発的に行動する人間、困難を乗り越えられる人間が求められるといわれています。学校生活において、成功も、失敗も、思い切ったたくさん体験し、自分の力を信じて行動できる人間に育てたいと思えます。

現在、平成30年度の教育計画の立案を行っております。今回は、学校評価アンケートのいくつかの項目から児童の実態と今後の学校教育について考えましたが、他の集計結果や頂いたご意見等は、次年度への貴重な資料として可能な限り生かしたいと思えます。

最後になりますが、この一年を振り返ると、宮前小学校の子どもたちは大きく成長しました。日々の教育活動が円滑に実施でき、行事を通して子どもたちを伸ばすなど多くの成果を実感することができたのも、宮前小学校の教育にご理解とご支援いただいた保護者の方々、地域の皆様のおかげと感謝しております。本当にありがとうございました。今後も、地域や保護者の思いや願いに応えられるよう、教職員一丸となって充実した教育活動を展開し、「あたたかな学校」の実現に取り組んでまいります。

来年度も、どうぞよろしく願いたします。